

脳と神経 第 28 巻 総目次

1976 年 (第 1 号～第 12 号)

【図 譜】

中枢神経系の初期発生

- I. 神経管形成と神経発生の第 I 期
服部 隆則・藤田 哲也 6(1)
- II. 神経発生の第 II 期
服部 隆則・藤田 哲也 122(2)
- III. 細胞発生の第 III 期: グリアの発生
北村 忠久・藤田 哲也 218(3)

不随意運動アトラス

1. Oral Dyskinesia 大友 英一 318(4)
2. Hyperkinésies volitionnelles
岩田 誠 422(5)
3. 軟口蓋ミオクロニー 平山 恵造 518(6)
4. Dystonia 柳沢 信夫 622(7)
5. SSPE はおける myoclonie
石川 達也・北原 佑・高田 邦安
豊福 照子 730(8)
6. 模倣連合運動 岩田 誠 860(9)
7. 舞蹈病—老年舞蹈病— 大友 英一 1064(10)
8. Lesch-Nyhan 症候群の不随意運動
有馬 正高 1117(11)
9. Myokymia 中西 孝雄 1283(12)

【総 説】

- 頭部外傷に続発する慢性脳病変の形態 (I)
吉村 教暲・生田 房弘 13(1)
- 頭部外傷に続発する慢性脳病変の形態 (II)
吉村 教暲・生田 房弘 122(2)
- 高血圧性脳出血の外科的治療
—診断と手術適応— 伊藤善太郎 218(3)
- 頭蓋内圧測定法 (1)
—頭蓋内圧測定法の歴史—
池山 淳・前田 成・永井 肇 318(4)
- 最近経験した臨床例について
—臨床と病理の対比— 沖中 重雄 422(5)
- 脳腫瘍の免疫 高倉 公朋 525(6)
- 頭蓋内圧測定法 (2)
—頭蓋内圧測定法の分類—
池山 淳・前田 成・永井 肇 631(7)

- 脳腫瘍の化学療法 星野 孝夫 739(8)
- 頭蓋内圧測定法 (3) —これまでに報告され
た頭蓋内圧測定法各論— 751(8)
- 雑種の脳 正井 秀夫 867(9)
- 頭蓋内圧測定法 (4) —バルーンを応用し
た頭蓋内圧測定装置とその信頼性について—
池山 淳・前田 成・永井 肇
古瀬 和寛 883(9)
- Precerebellar Nuclei への求心線維
—最近の知見と問題点—
水野 昇・中村 泰尚・岩堀 修明
伊藤 和夫・佐藤 学・小西 昭 1053(10)
- TIA, RIND 大友 英一 1177(11)
- 頭蓋内圧測定法 (5) —頭蓋内圧の硬膜外
測定法に附随する問題点と対策—
池山 淳・前田 成・永井 肇
古瀬 和寛・五十嵐伊勢美 稲垣 大 1289(12)

【原 著】

- ラットの脳血流測定法
松本 皓・宇都宮陽一
Richard Namon 31(1)
- 微細構造よりみた松果腫瘍の組織発生
松谷 雅生 41(1)
- 脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血急性期の意識障害と脳波
林 実・古林 秀則・丸川 忍
藤井 博之・宗本 滋・山本信二郎 57(1)
- 急性骨髄性白血病で死亡した脊髄硬膜外悪性リンパ腫の 1 例
児玉 博行・小竹 源也・成瀬 昭二
遠山 光郎 67(1)
- Bilingual 失語症 2 例の言語治療経過
綿森 淑子・笹沼 澄子 77(1)
- 脳腫瘍の免疫学的研究 (第 2 報) —グリオー
マ患者治療経過中の免疫機能低下について—
祖父江八紀・谷村 憲一・寺林 征
皆川 信・井上 啓一・植木 幸明 87(1)
- 脳波に及ぼす固視点と全体野の影響
高橋 剛夫 95(1)

- 後部視床下部破壊の頭蓋内圧に及ぼす影響
(第1報)—Vasomotor paralysis の発現機序についての考察
中川 翼・本宮 峯生・都留美都雄
板東ミツエ・田端真喜子 105(1)
- 急性頭蓋内亢進に対する norepinephrine, phentolamine の効果—臨床例における観察
林 実・丸川 忍・藤井 博之
北野 哲男・古林 秀則・山本信二郎 143(2)
- ATP の脳循環におよぼす影響
—脳血流動態と脳血管の形態的観察
寺田 秀興・梶浦 孝允・京井喜久男
内海床三郎・堀 浩 151(2)
- 頭蓋内圧—容積圧と反映圧
池山 淳・前田 成・永井 肇 157(2)
- 後部視床下部破壊の頭蓋内圧に及ぼす影響
(第2報)—加圧群と正常頭蓋内圧群の反応様式の比較
中川 翼・本宮 峯生・都留美都雄
板東ミツエ・田端真喜子 165(2)
- 脳幹部障害に対する眼輪筋反射 Orbicularis Oculi Reflex の臨床生理学的研究
呉屋 朝和・吉田 護・松角 康彦
清水 裕幸・加納 竜彦 173(2)
- 末梢性めまいと中枢性めまいの簡易鑑別診断法
—検査法の開発と178例の検索結果から
坂田 英治・大都 京子 187(2)
- 脳血管奇形と脳動脈瘤合併の蓋然性
中島 健二・伊藤善太郎・辺 龍秀
上村 和夫・松岡 茂 197(2)
- 小脳をめぐる二、三の比較神経学的所見について
俣野 彰三 249(3)
- 遺伝性失調症の1家系の1剖検例
藤本 覚・土本 広一・井上 和秋
中村 恭二・神田 誠・脇坂 明美
小谷 富男・相沢 幹
- アミノ酸代謝異常による肝脳疾患特殊型の病態—Citrullinemia を呈した3症例の臨床観察を中心に
齊藤 嘉郎・高畑 直彦・諏訪 望
西 信博・西岡 信博・掛川 紀夫
伊藤 哲寛・片桐 瑞穂 263(3)
- 大泉門拍動波の分析(第1報)
—拍動波形と頭蓋内圧の関係について
林 隆士・白水 徹・正島 隆夫 271(3)
- 渡辺 光夫・高木 繁幸・倉本 進賢
Transsphenoidal Encephalocele の診断と治療について—自験例と文献的考察
白瀧 邦雄・坂本 敬三・大原 義雄 281(3)
- 遅発性てんかん患者の連続脳血管造影所見の検討
外賀 昭・森本 一良・池田 宏也
岩田 吉一・赤木 功一 293(3)
- 思春期に発病した Lennox 症候群について
扇谷 明・河合 逸雄・北条 博厚 301(3)
- 大泉門拍動波形の分析(第2報)
—特に拍動波の振幅と乳児の月齢および脳実質の厚さとの関係について
林 隆士・白水 徹・正島 隆夫
渡辺 光夫・高木 繁行・倉本 進賢 337(4)
- 内臓神経を遠心路とする胃運動抑制反射および促進反射の中枢機序について
藤井 一元・溝西 怀・長尾 由尚 345(4)
- 動脈瘤を内在した脳底部異常血管網の剖検所見
—特に手術用顕微鏡による検索所見について
大野喜久郎・藤木 司・小松 清秀
平塚 秀雄・稲葉 稜・上笹 皓
芝田 敏勝 353(4)
- 平衡型圧センサーによる臨床用頭蓋内圧モニター装置について
沼本 満夫 356(4)
- てんかん患者脳脊髄液中のホモバニリン酸濃度
小林 清史・江原やよい・細川 清
奥 謙 371(4)
- 焦点性てんかんの局所脳循環に関する研究
—特に機能負荷試験による焦点部位の病態生理を中心として
及川 忠人 379(4)
- 非定型な Alzheimer 病の1剖検例
黒田 重利・庄盛 敦子・立石 潤 389(4)
- 再発性、多発性脳塞栓を呈した left atrial myxoma の1例
好永 順二・森田 博方・佐々木高伸
岡本 繁・引地 明義・平本 忠憲 397(4)
- EthylNitrosourea 投与による実験脳腫瘍
—ラットにおける腫瘍発生頻度及びその神経症状
小林 直樹・阿部 弘・伊藤 輝史
田代 邦雄・都留美都雄 439(5)
- 先天性筋ジストロフィー症に合併した大脳・小脳の小多回(Mikropolygyrie)について
小笠原嘉祐・伊藤 勝三・室伏 君士 451(5)

- 脳血管 Moyamoya 病の症状発現機序
鈴木 二郎・児玉南海雄・峯浦 一喜 459(5)
けいれん準備性と脳内カテコラミン
—Kindling preparation を用いた実験的研究
佐藤 光源・中島 豊爾・光信 克甫
大月 三郎 471(5)
Lid jaw co-movements の珍しい型を呈した 2 症例
高岸 泰・宿谷幸次郎・吉倉 範光
佐久間靖子・佐久間不二男・太根節直 479(5)
てんかん焦点における細胞外 K^+ 濃度の変動
岩山 馨・森 和夫・小野 博久
米倉 正大 487(5)
日本住血吸虫一有病地における脳機能障害の疫学的研究 —脳波所見を中心に
林 正高・熊倉 徹雄・葉袋 勝 493(5)
正常頭蓋内圧環境 —開放腔と閉鎖腔の理論
池山 淳・前田 成・坂野 公一
伊藤 明雄・永井 肇・景山 直樹 539(6)
視交叉部癒着性クモ膜炎における血管因子
松本 正久・三浦のり子・滝沢 利明
山崎 隆 549(6)
浅側頭動脈・中大脳動脈皮質枝間吻合術により著効をみた一過性脳虚血発作の 2 症例
浅利 正二・植田 清隆・中村 成夫
山田 修・景山 敏明・菅谷 広司
東 徹 557(6)
Benzodiazepine 系抗てんかん剤 clonazepam の抗てんかん作用について
—1. 経口投与による効果
加藤 秀明・森 俊憲・森内 巖
吉村 剛・岩田 毅・貝谷 久宣 565(6)
 ^{111}In -DTPA による RI Cisternography の検討
徳力 康彦・村田 高穂・三輪 佳宏
福光 太郎・松村 忠範 579(6)
脳内血腫における Pantopaque 血腫腔造影とその Stereotaxic evaluation
金子 満雄・古場 群己・横山 徹夫 589(6)
胎児期一側性水頭症 2 症例の検討
松森 邦昭・別府 俊男 597(6)
生体脳における左右半球の解剖学的差異
—特に側頭葉 planum について
堀 智勝 639(7)
小舞路病の運動障害 —筋電図による検討
柳沢 信夫・塚越 廣・豊倉 康夫 651(7)
遺伝性原発性アミロイドーシスの末梢神経および筋肉の病理所見
—アミロイド線維の生成機序について
弟子丸元紀・宮川 太平・住吉 司郎
村山 英一・立津 政順 661(7)
“Kindling preparation” を用いたてんかんの実験的研究 —中隔野発作と精神運動発作との関連について
佐藤 光源・大西 俊和・中島 豊爾
大月 三郎 667(7)
Wallenberg 症状群の 1 例、とくに前庭神経核病変について
上村 卓也・岸 澄子・下出 啓子
赤井契一郎 681(7)
先天性 Toxoplasma 脳症と考えられる嚢胞脳症の神経病理と神経生理: 1 剖検例
林 三郎・守田 嘉男・福井 郁子 687(7)
小児頭部外傷例の脳波
川口 進・三田 礼造・下山 三夫
大沢 武志・大沼 悌一・福島 裕 659(7)
小脳血管芽腫に多発性脳動脈瘤を合併した 1 症例
吉井与志彦・牧 豊・伴野 悠士
中村 孝雄 703(7)
Progressive Subcortical Gliosis の 1 剖検例
三山 吉夫・糸井 孝吉 761(8)
急性期脳硬塞の脳血管造影所見 —とくに追跡検査を行つた中大脳動脈閉塞例の検討
渡会 二郎・上村 和夫・奥寺 利男
山口 昂一 769(8)
脳腫瘍の統計学的研究
新井 弘之・山崎 一徳・山崎 悦功
植木 幸明 779(8)
末梢型外傷性脳動脈瘤
浅利 正二・中村 成夫・山田 修
別宮 博一・菅谷 広司・東 徹 793(8)
臭素酸塩による急性腎不全に合併した末梢神経障害の 1 例
弟子丸元紀・宮川 太平・住吉 司郎
野村 芳雄 807(8)
末梢性脱炭酸酵素抑制剤と L-dopa の併用療法における pyridoxine 同時投与の効果
—実験的、臨床的検討
難波 真平・大本 堯史・岸川 秀実 815(8)

慢性脳乏血と脳室内出血

児玉南海雄・峯浦 一喜・鈴木 二郎
小沼 武英

828(8)

松果体部奇形腫全剝, 15年後に発症した two cell pattern pinealoma の1例

土田 正・田中 隆一・小林 啓志
植木 幸明・小泉 隆徳・小宅 洋

893(9)

「植物状態」の臨床像 —植物と脳死を分けるもの—
ガルゴリズムの1症例 —合併水頭症に対する V-A ショットの経験—

桜田 修・宮岡 誠・寺門 敬夫
吉浜 雄介・石川 滋

915(9)

特異な神経症状を呈した高血圧性脳橋出血の1剖検例

川村純一郎・森竹 浩三・半田 肇
挾間 章忠

921(9)

Print out data による脳 RI scan 側面像の分析 —isocount scanning を用いて—

竹山 英二・吉田 滋・山本 昌昭
今永 浩寿・門脇 弘孝・神保 実
喜多村孝一

972(9)

小児の側頭部 “Arachnoid cysts”

—神経放射学のおよび病因論的考察—

玉木 紀彦・坪本 勝司・藤原 潔
朝田 雅博・大洞 慶郎・白滝 邦雄
白方 誠弥・松本 悟

937(9)

内頸静脈血酸素飽和度の連続測定

—fiberoptic oximeter の臨床応用—

金 英基・和田 邦雄・南 卓男
桂田 菊嗣

951(9)

神経・筋疾患における四肢軟部組織撮影

—その診断的意義について— 福田 眞二

963(9)

Multilamellar Cytosomes をもつ Cerebral

Lipidosis の成人型の1例

相原 芳昭・前田 進・横井 晋
伊勢田成子

1081(10)

大脳半球摘除ラット神経組織の生化学的变化
—Neurotransmitter の動態について—

外山 孚

1087(10)

ペラグラ患者の消化器症状の原因について

石井 惟友・西原 康雄

1095(10)

先天性小脳髄症の成立機序に関する実験的研究

柏渕 康郎

1101(10)

脳血管障害における Skull scan の臨床的意

義の検討

小林 眞・前田 敏男・伊藤 和夫
久波 紀利・久田 欣一

1115(10)

Hydrocortisone 大量投与による交感神経抑

制効果

端 和夫・田中 清明・松裏 修四
西村 周郎

1125(10)

特発性頭蓋内静脈及び静脈洞血栓症

福田 栄・山田 史

1133(10)

O₂ の脳血管収縮作用における CO₂ の役割

藤本俊一郎・長尾 省吾・久山 秀幸
西本 健・二宮 一彦・秋岡 達郎
野坂 芳樹・西本 詮・萱田 静海
奥村 修三

1141(10)

血族結婚の1家系に見られた脳底部異常血管網症 (モヤモヤ病) の3例

鳴海 新・西村 謙一・淵沢 敬吉
日高 徹雄

1201(11)

脳硬塞症例の非閉塞部位における脳循環に関する研究

青山 喬

1207(11)

Cytosine Arabinoside 投与による小脳外顆

粒細胞傷害に関する電顕的研究

山野 恒一・中尾 浩二・島田 司己
中村 恒男・森川 佑二・楠 智一

1215(11)

Cranial Computed Tomography における

造影剤増強法 —ICI 法による検討—

佐藤 修・金沢 至・神谷 博
山下 緑・佐野 圭司

1225(11)

赤毛猿視床下部におけるカテコールアミン神経終末の分布

石川 正恒・島田 祥三・半田 肇
田中千賀子

1235(11)

成人定型発症を示す Rigid-Akinetic Form

の Huntington 舞蹈病の症状推移について

横地 光子・久富 幸子

1243(11)

正常ヒト筋紡錘の組織化学的研究 (I)

—錘内筋線維の組織化学的分類—

斎藤 光典

1251(11)

Sleep-induced dyspnea を伴った Wallenberg 症候群の1症例

池田 宏也・堀 正治・最上平太郎

1259(1)

性格変化と軽度の知能障害を示したオリーブ

・橋・小脳萎縮症の1剖検例

弟子丸元紀・宮川 太平・鈴木 高秋

1297(12)

Chromatolytic Neuronal Swelling にみられ

- た異形ミトコンドリアと結晶性物質について 貝谷 寿宣・森内 巖・岩田 毅
池田 研二 1303(12)
- 頭蓋内に播種性転移をきたし無動性無言症を呈したと考えられる脊髄腫瘍例の臨床病理学的検討
田代 邦雄・橘 溢国・都留美都雄 1311(12)
- Ethylnitrosourea (E. N. U.) の胎盤投与による実験的脳腫瘍 (第1報)
—Microtumor の経時的, 部位的考察と組織学的性状について 埜本 勝司 1319(12)
- Hydrocortisone 大量投与による脳循環の変化について
端 和夫・松岡 好美・田中 清明
大川 直澄・西村 周郎 1327(12)
- 脳梁腫瘍の臨床症状に関する検討
稲葉 憲一・宮崎 雄二 1335(12)
- 正常ヒト筋紡錘の組織化学的研究 (II)
—筋紡錘神経終末の組織化学的分類 斎藤 光典 1343(12)
- ネマリンミオパチーの1例
小俣 純子・渥美 哲至・宮武 正
水野 美那・吉田 充男 1351(12)
- ビタミンK欠乏症にもとづく乳児頭蓋内出血—自発性脳内および硬膜下血腫の治験1例
白井 鎮夫・大和田哲夫・秋本 優
林 幹朗・牧 豊 1359(12)
- 【その他】**
- ご存知でしょうか
多因子遺伝と閾仮説 有馬 正高 388(4)
目玉の動き 中西 孝雄 450(5)
脊髄の血管と循環 大友 英一 548(6)
脳卒中 相澤 豊三 649(7)
くも膜下出血の再発作 鈴木 二郎 760(8)
No Reflow-Phenomenon in the Brain
古和田正悦 899(9)
くも膜下出血 宮崎 雄二 1148(10)
一酸化炭素中毒 横井 晋 1206(11)
中枢性頭位眩暈 (Bruns 症候群) 長島 親男 1348(12)
- 症候群・徴候**
カーテン徴候 平山 恵造 103(1)
前脊髄動脈症候群 平山 恵造 156(2)
空涙症候群 (ワニの涙症候群) 平山 恵造 291(3)
- 書 評**
本多虔夫・著「神経病へのアプローチ —300
のプログラム教程—(改訂第2版)」 矢田 賢三 183(2)
本多虔夫・著「神経病へのアプローチ —300
のプログラム教程—(改訂第2版)」 井形 昭弘 244(3)
椿 忠雄・佐野圭司・五島雄一郎編「臨床神
経学 (改訂第2版)」 相澤 豊三 364(4)
Dyck P. J. Thomas P. K. Lambert E. H. 著
「Peripheral Neuropathy」 祖父江逸郎 378(4)
山中 學・熊原雄一 編「臨床検査診断学」 柴田 進 458(5)
A. J. Friedhoff 編「Catecholamines and
Behavior 2 —Neuropsychopharmacology—
内蘭 耕二 470(5)
「Clinical Neurosurgery (Vol. 22)
—Proceedings of the Congress of Neuro-
logical Surgeons (1974)」 佐野 圭司 555(6)
Erich Stenberg 著「Probleme der Alterspsy-
chiatric 加藤 正明 564(6)
E. Roberts, T. N. Chase, D. B. Tower 編
「GABA in nervous system function」 島村 宗夫 604(6)
Turan M. Itil 編「Modern Problems of Phar-
macopsychiatry (Vol. 8) —Psychotropic
Drugs and the Human EEG—」 稲永 和豊 637(7)
Quandt J. und Sommer H. 編「Neurologie,
Grundlagen und Klinik」 里吉宮二郎 679(7)
内蘭耕二・五十嵐正雄 編「脳の活性物質」 黒川 正則 693(7)
高橋睦正 著「椎骨動脈造影アトラス」 鈴木 二郎 694(7)
Burch, N. and Altshuler, H. L. 編「Beha-
vior and Brain Electrical Activity」 藤森 聞一 750(8)
Gilroy & Meyer 著「Medical Neurology
(2nd ed.)」 中西 孝雄 767(8)
Hector C. Sabelli 編「Chemical Modula-
tion of Brain Function —A Tribute to
J. E. P. Toman—」 融 道男 805(8)
Walter J. Friedlander 編「Current Reviews
—Advances in Neurology (Vol. 13)」 濱口 勝彦 892(9)
平野朝雄 著「神経病理学を学ぶ人のために」

- | | | | | | |
|--|-------|----------|--|-------|----------|
| | 田崎 義昭 | 900(9) | Gerald E. Gaul 編「Biology of Brain
Dysfunction (Vol. 3)」 | 中沢 恒幸 | 1224(11) |
| R. Galun, P. Hillman | | | M. G. Netsky & S. Shuangshoti 著「The
Choroid Plexus in Health and Disease」 | | |
| I. Parnas & R. Werman「Sensory Phy-
siology and Behavior」 | 勝木 保次 | 960(9) | | 竹下 研三 | 1234(11) |
| R. F. Schmidt, J. Dudel, W. Jänig und M.
Zimmermann 著「Grundriß der Neuro-
physiologie」 | 佐藤 謙助 | 1114(10) | Paul New 著「Computed Tomography of
the Brain and Orbit」—EMI scanning— | 喜多村孝一 | 1257(12) |
| 原 一夫 編「脳疾患のレ線診断」
(改訂第2版) | 小林 敏雄 | 1123(10) | H. F. Bradford & C. D. Marsden 編
「Biochemistry and Neurology」 | | |
| 平野朝雄 著「神経病理学を学ぶ人のために」 | 生田 房弘 | 1130(10) | | 山上 栄 | 1258(11) |
-